

節電啓発キャンペーンの結果について

東日本大震災に伴う福島原発の事故による東京電力管内エリアにとどまらず、東北・中部・関西・九州エリアにおいても今夏の電力量が不足し、大規模停電の発生が懸念されています。

セルフを始めとした社会福祉施設の多くは生命・生活の維持、労働・生産活動の確保のために継続的な電力供給を必要としており、大規模停電は場合によっては、利用する方々の命や生活そのものにも直結します。

こうした状況を踏まえ、「全国セルフ東日本大震災対策本部」では全国の障害者就労支援施設・事業所が中心となって、国民一人ひとりが節電意識を持って暮らすライフスタイルの推進を呼びかける「節電啓発キャンペーン事業」を実施し、①節電を推進する川柳・標語・スローガン・短詩、②施設や家庭で取り組める節電のアイデアを募集しました。

1 か月足らずという短い募集期間にもかかわらず、全国から①標語・スローガン・短詩は 283 点、②節電のアイデア・取り組みは 46 点が寄せられました。

去る 7 月 13 日(水)に選考委員会を開催し、厳正な審査の結果、優秀作と佳作を選考いたしました。なお、優秀作については、10 月 25 日(火)に開催される全国社会福祉就労センター総合研究大会の開会式において表彰いたします。

また、川柳・標語・スローガン・短詩の優秀作・佳作については、[「ステッカーPDFファイル」](#)からステッカーをダウンロードできますので、ラベル用紙に印刷のうえ施設内に貼っていただくなどして、節電にご活用ください。

(ステッカーの印刷方法例)

PDF データは A4 サイズになっています。市販されている A4 サイズのノーカットタイプのラベル用紙(例：エーワン「ポスト・イット(R) ラベルシール」品番 84201 など)にインクジェットプリンターなどで印字して、お使いください。

※例示したステッカーについては、下記をご参照ください。

<http://www.a-one.co.jp/product/search/detail.php?id=84201>

選考結果

皆様からのご応募ありがとうございました。

◎ 川柳・標語・スローガン・短詩の部

優秀作

- ★「節電で大きく広がれ支援の輪」（鹿児島県・鹿児島太陽の里／丸尾喜美子様）

佳作

- ★「節電は思うだけでなく さあ実行！」（福岡県・蓮の実団地／秋月康彦様）
- ★「節電にひとりひとりの心がけ」（三重県・八野ワークセンター／中前千絵様）
- ★「節電は施設経費のダイエット」
（愛知県・名古屋ライトハウス明和寮／中野明美様）
- ★「その電気 こまめに消して 明日への光に」
（栃木県・社会就労センターきたざと／中山理恵様）
- ★「リビングに家族集まりエコだんらん」
（鹿児島県・鹿児島太陽の里／原口裕作様）
- ★「節電で心のあかりともそうよ」（北海道・屈足わかふじ園／坪坂睦子様）
- ★「節電の 消す心にも ゆとりの灯」
（山口県・長門福祉作業センター／岡藤英理香様）
- ★「節電で 光を灯す 明日へと」
（東京都・足立区大谷田福祉センター／齊木一貴様）

◎ 節電のアイデア・取り組み

優秀作

★「緑のカーテン “地球にやさしいエコ活動”

私たちの施設では、園内の全ての窓に、プランターでゴーヤの栽培をしています。窓一面にゴーヤの葉を張り巡らすことで、日差しを和らげ室温の上昇を抑える効果があります。窓一面の緑のカーテンで、エアコンを使わず、涼しい夏を目指します。

そして節電から始まるゴーヤの栽培！ 利用者、職員共々、育てる喜び、収穫する喜びを味わいながら楽しく節電に取り組んでいきます！」

(茨城県・知的障害者支援施設 第二幸の実園／神長弘枝様)

★「エアコン

→エアコンは使用時間と温度設定を規定(温度設定については、部屋ごとに決める)。

→フィルター清掃を月2回実施し、効率よく運転させる。

照明

→電気はこまめに消す。

→部屋の電気 30%消灯。

→点灯されては困る場所の蛍光灯や電球をとる。

→利用者が帰宅後直ぐに戸締りやスイッチの確認をする。

→日中天氣の良い日は太陽光を利用し、電気をつけない(状況や場所によって)。

→お昼・15 時休みは電気を消す(状況や場所によって)。

→LED に付け換える(計画的に変更していく。食堂は、交換頻度が多い)。

パソコン

→パソコン等は必要の無い時には電源を切る。ただし、起動時に多くの電力を消費する為、1 時間以内の時は切らないほうが節電になる。

その他電気

→エレベーターは4人以上で乗る(状況によって)。

→温水の出る水道は電源を切り、必要な時だけ使用。

→自動ドアはスイッチを切っておく(開放しておく場合は、虫対策等が必要)。

→冷蔵庫の温度を中または弱にする。

→洗濯機はまとめて洗う。

→トイレの便座の保温を切る。

→電気ポットの長時間保温をしない。

その他

→暑い時期でのイベントの時期の変更。

→利用者の少ない時間帯は、出来るだけ同じ場所で過ごすようにする。

→残業しない日を作る。

→「緑のカーテン」「よしず」「すだれ」など日射対策。

→太陽光設備設置

(栃木県・社会就労センターきたざと)

佳作

★「施設ではゴーヤを植えて緑のカーテンになるようにしています」

(福岡県・蓮の実団地)

★「ずばり早寝早起きです。夜は早く寝るため必然的に電気を消すので、どんなに性能の良いエコ商品より節電できます。

また、早寝早起きは節電にも健康にもなり一石二鳥です! 」

(三重県・ふっくりあふウス／藤尾律様)

★「部屋の中に水槽があると水の蒸発により温度が下がり涼しくなります。視覚効果もあり、クーラーの使用頻度が少なくなります」

(東京都・ワークステーション立川／佐伯和久様)

★「電力使用における使用した際のコストを一覧にし、掲示する事で、使用制限の啓発を図る。

視覚的納涼効果を期待し、『涼』を感じるポスター掲示、風鈴を設置する」

(東京都・立川リハビリ／原田友章様)